

日曜早朝坐禅会

AM7:00~8:30

坐禅は、心を清め、体を清めます。



毎週日曜開催
参加費無料
老若男女を問わず
ご参加下さい

定例坐禅会は
毎週木曜日
午前9時より
開催しております。

スケジュール

午前7:00~7:20 坐禅
5分休憩
午前7:25~7:45 坐禅
午前7:45~8:00 作務(清掃)
午前8:00~8:30 茶礼(茶会)

初めてご参加希望の方は、事前に電話でご連絡ください。
当日は、午前6:45までにお越しください。

「坐禅こそ現世利益」

先日、宮城県の被災地から一人の若きアグレッシブ(積極的)な曹洞宗僧侶が、見性院を訪ねてきました。多くの質問書を携えて2時間弱の懇談はあっという間に終り、再会を約して足早に去って行きました。次は羽田から大阪に行くとの事でした。

彼は、私の拙著「お寺の収支報告書」にいたく感動したとのことでした。質問の内容は多岐に渡りましたが、最も私から本音を聞き出したかったことは、いかにして逆境をバネにモチベーション(やる気)を保っているのか、孤独とどう立ち向かっているのかということでした。

私は答えました。一言で言えば、禅、あるいは古典哲学が重要であることを説明しました。特に禅語の「只管打坐」「前後際断」の二語を強調しました。道元禅師はただひたすら坐に打ちこめといひます。無心で目の前のことに集中していくことを意味します。また前後とは過去をよくよしない、未来を思い煩わされない、いま、ここ、自分を素直に生きることを際断と表現したのでしょうか。そうしますと、雑音を気にすることもなく脇見もしなくなり、おおらかに、精神的に優雅に生きられるようになります。今からでも遅いことは本当は何もありません。なぜなら、始まりも終わりもないのが禅思想です。生死一如。

あの世もこの世も夢物語、あるといえばある・ないといえばない、のが「空」です。ただ正直な仏の世界が現前とあるだけなのです。「天網恢恢疎にして漏らさず」(老子第73章)といひます。天のはからいに身をまかせて、正しい人事を尽くせば、天の命は必ずその人に味方をしてくれます。「徳は孤ならず必ず隣りあり」(論語)。正しいことを追求している者には必ず隣りに座ってくれる支援者が現われるという意味です。

よく政治家が正念場といひますが、これは仏教語の「八正道」の一つ「正念」からきています。本当に正しく理解し、念じておられるのでしょうか。

正しい信念を貫いて、本当にまじめにやっていたら、この世には何も心配することは無いのです。

この世は神・仏が創っている壮大で正直なドラマですから。

我々の目指す使命、天命は、いかに誠実で正直で素直に生きられるかです。どんな地位にあっても、謙虚でいられるか。

みんなに公平で、常に感謝の心を持って生きられるか。心配することはこれだけであり、あとは天の責任だと思えばよいのです。

こんな話を、宮城県から来た青年僧にさせていただきました。今の私を救い安定させてくれる修行の中心は、やはり坐禅しかありません。

より多くの方が、見性院の坐禅会に来ていただくことを念じてやみません。

平成26年12月8日 釈尊成道の日(お釈迦様が悟りを開いた日とされています)

見性院住職 橋本英樹